

# 序

この書籍の対象は、リハビリテーション（以下、リハ）科で研修しない初期研修医、およびリハ科以外の医師です。リハ科で研修する医師は、他のリハの教科書で学習してください。この書籍では、初期研修医や総合診療医など、プライマリ・ケアに従事する医師がよく出会う疾患や障害に限定して紹介しています。そのため、リハ科医師向けのリハ書籍であれば必ず含まれる脊髄損傷、大腿骨近位部骨折、四肢切断、関節リウマチなど膠原病、脳外傷、末梢神経障害、脳性麻痺・発達障害・筋ジストロフィーなど小児全般を省略しました。認知症以外の精神障害、視力視野障害、聴力障害、免疫機能障害、小腸機能障害、熱傷、慢性疼痛も省略していて、1冊でリハのすべてを学習できる書籍ではありませんのでご了承ください。

この書籍のこだわりは、私以外はすべて総合診療医が執筆していることです。リハの専門家ではない総合診療医が執筆することで、リハ科で研修しない初期研修医や、総合診療医などリハを専門としないすべての医師にとっても役立つリハの書籍にしました。リハ科専門医は現在、約2,000人しかいませんので、リハを必要とする患者のリハの大半をリハ科専門医以外がみています。初期研修医およびリハ科以外の医師が習得すべき最低限のリハの知識・技能は、目の前の患者にリハが必要かどうかを評価して、必要であればすみやかにリハオーダーもしくはリハ科に併診することです。本書が医原性の廃用症候群、低栄養、サルコペニアの絶滅に貢献できましたら嬉しいです。

2016年4月

横浜市立大学附属市民総合医療センター  
リハビリテーション科

若林秀隆